

<b>授業科目</b>  アドバンスト・  ヘルスアセスメント	<b>科目概要・形式</b>  2単位30時間(14コマ) 講義科目	<b>配当年次</b>  博士前期1年次 前期開講	<b>オンライン参加</b>  10 コマは演習を含むため 対面授業 4 コマはリモートで可
<b>科目責任者</b>	角濱 春美		
<b>担当者</b>	角濱 春美、小池 祥太郎、千葉 武揚		
<b>1. 科目のねらい・目標</b> 複雑な健康問題をもった対象の身体・精神状況について系統的に全身を診査し、臨床看護判断を行うために必要な看護ヘルスアセスメントの知識・技術を習得する。 <到達目標> 1. 看護ヘルスアセスメントの概念について説明できる。 2. フィジカルアセスメントの基本手技および問診・精神状態のアセスメントの手法を理解し、系統的フィジカルアセスメントを実施できる。 3. ヘルスアセスメントの知識・技術を用いて複雑な健康問題をもった対象の身体・精神的状況について臨床看護判断できる。			
<b>2. 授業計画・内容</b> <b>【角濱】</b> リモート可 1回目：フィジカルアセスメントの背景 ・看護におけるヘルスアセスメントの意義 2回目：フィジカルアセスメントの基本 ・フィジカルアセスメントの基本的技法、問診、身体診察の基本 ・精神機能のアセスメント 心理社会的障害の鑑別：抑うつ、せん妄 <b>【小池】</b> 対面 3・4回目：・外皮・感覚器系のフィジカルアセスメント ・皮膚、爪、頭頸部、耳、眼、鼻、口腔の診察法 5・6回目：・腹部のフィジカルアセスメント ・筋骨格系のフィジカルアセスメント <b>【千葉】</b> 対面 7・8回目：・呼吸器系のフィジカルアセスメント 9・10回目：・循環器系のフィジカルアセスメント <b>【角濱】</b> 対面 11回目：・泌尿器・生殖器系のフィジカルアセスメント 12回目：・中枢神経系・脳神経系のフィジカルアセスメント <b>【小池】</b> 対面 13回目：検査データからの臨床判断 ・血液検査のデータの読み方 ・心電図及び胸腹部X線写真の読み方 <b>【角濱・小池・千葉】</b> リモート可 14・15回目：統合演習 ・各専門領域で遭遇する複雑な健康問題をもった事例を取り上げ、その対象へのフィジカルアセスメントを討議する			
<b>3. 教科書、参考書</b> <教科書> 翻訳：Lynn S. Bickley 著 福井次矢ら訳：ベイツ診察法 第3版、			

メディカル・サイエンス・インターナショナル、2022。ISBN 978-4-8157-3056-7

元本：Lynn S. Bickley et al.：Bates' Guide to Physical Examination and History Taking 13th Edition, Lippincott, 2020。ISBN/ISSN:9781496398178

角濱春美編：看護実践のための根拠がわかる基礎看護技術、メヂカルフレンド社、2020。

ISBN 978-4-8392-1666-5

<参考書>

授業で随時紹介

#### 4. 成績評価方法

統合演習のプレゼンテーション（80%）と統合演習のまとめレポート（20%）

#### 5. 受講要件

なし

#### 6. 社会人学生に対する配慮

夜間開講とする。

#### 7. その他

技術演習が含まれるため、10 コマは大学に来学しての授業となる。これ以外は、学生の要望により、リモートでの同時双方向型授業を行うことができる。